令和6年度
市川市立第六中学校
生徒指導部
No.23　R7/3/10

TEAM　UP 六中

第65回卒業証書授与式

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。六中での3年間はいかがでしたか？楽しいことや嬉しいことがあれば、辛いこともあったことでしょう。

13日（木）、義務教育9年間の終わりである卒業式が行われます。人生にはいくつかの『節目』があります。中学校の卒業式も、『節目』です。皆さんは『節目』とは何かを知っていますか。

『節目』とは、木や竹にある、つなぎ目のことです。つなぎ目と聞くと「つないでいるだけ」と思いがちですが、そうではありません。『節目』があることで、風が吹いてもしなり、強度が増すそうです。竹を想像してみると、たしかに真っすぐ、しなやかに伸びていることがわかります。

人生も同じだと思います。『節目』をしっかり生きることが、今後の人生の大事な『つなぎ目』となり、真っすぐ、しなやかに続いていくのだと思います。

1・2年生の皆さんは、11日（火）の卒業式予行に参加します。自分たちが卒業する1・2年後を想像しながら、3年生の先輩方の姿をしっかりと目に焼き付けてほしいと思います。

3年生の皆さん、予行は1・2年生が、当日は保護者の方が後ろから君たちを見守っています。君たちがここまで成長できたのは自分だけの力ではなく、周りの支えがあったからだと思います。感謝の気持ちが伝わるような式にしてくれることを期待しています！

～東日本大震災から14年～

2011 年３月 11 日午後２時46分、東北沖でマグニチュード 9.0 の大地震が発生しました。宮城県栗原市では最大震度7を記録し、岩手県や宮城県、福島県の沿岸を10m以上の大津波が襲い、死者・行方不明者は約2万人を数えました。東日本大震災から、今年で14年です。

この大震災で、気づかされたことがあります。それは人と人の「絆」の大切さです。たくさんのボランティアが、東北を救うために集まりました。その「絆」があったから、徐々に復興しているのだと思います。

ある調査によれば８０％の人が「東日本大震災の記憶が風化している」と感じているようです。
確かに私たちの周りの生活は震災以前の生活に戻っています。しかし、忘れてはいけません。
あの日のまま、時間が止まった街があることを。
約３万人の方が今も避難生活を余儀なくされていることを。
そして、大切な人を震災で亡くし、心の傷が癒えていない人がいることを・・

私たちにできることは何か。それは、この機会に防災について家族と話し合うことだと思います。「災害が起こったら、どこに集合する？」「防災バックは用意する？」「防災バックの中身は大丈夫かな？」そうすることで防災意識が高まり、いざというときに役立つそうです。我が家では3・11を機会に、毎年避難場所や防災バックの中身を確認しています。みなさんも家族で『防災』について話し合ってみてください。